

1.ご使用前に

- 本製品をご使用になる前に必ずこの説明書をよく読み、正しい使用方法を十分理解した上でご使用ください。使用方法がわからないままでのご使用は絶対におやめください。
- この説明書は大切に保管いただき、必要に応じてお読みください。
- お客様の誤った使用方法で発生した破損や故障、事故に関しましては、弊社は一切の補償をいたしかねますので予めご了承ください。
- ポンプの空回しのみまでのご使用は絶対におやめください。必ずパイプとホースを正しく接続し、フィルター（ポンプ）の中に水を通してから電源を入れてください。
- キャニスター部とポンプ部をつないでいる黒いゴムホースは時間の経過で劣化します。表面にひびが入ったり、水がしみ出てきた場合には、速やかに新しいものと交換してください。緊急の場合は、付属のクリアホースを短く切ったもので代用できます。
- 吸水部にスポンジを付けたり、プレフィルターを接続した状態では使用できません。ポンプが故障する原因となります。
- 海水には使用できません。
- 弱った魚や小さい魚は吸水部に吸い込まれることがありますのでご注意ください。
- 生体の病気や死亡、水草の枯れなどについて弊社は一切の責任を負いません。

2.安全上の注意

※必ずよくお読みください。

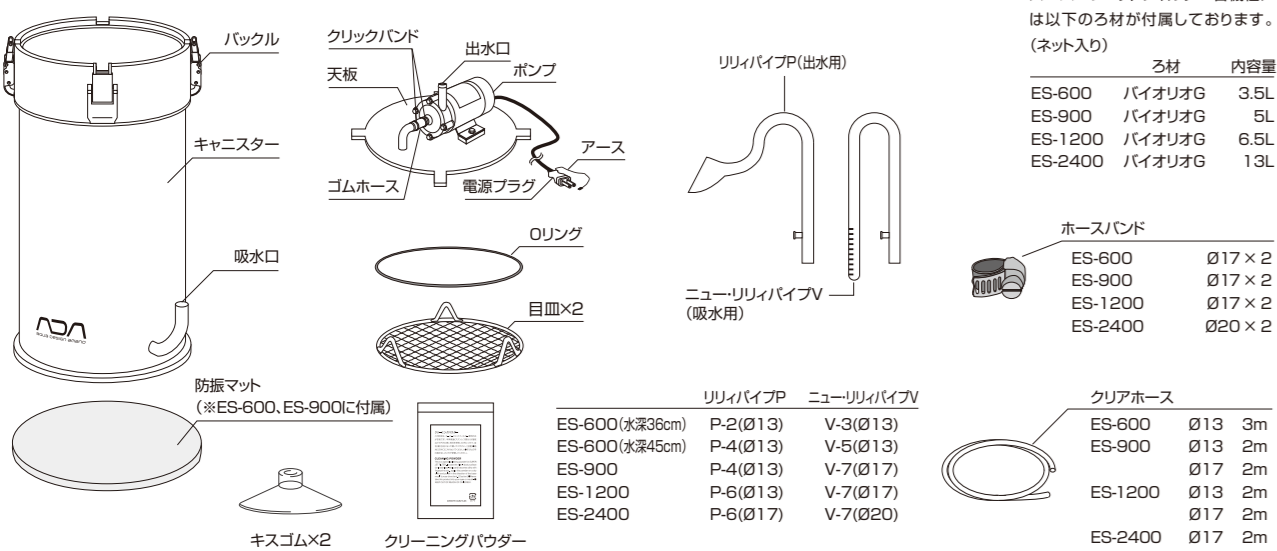
- △注意：この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される場合を示しています。
- 電源プラグは確実に差し込んでください。本機の電源プラグはトラッキング防止機構を持っていますが、差し込み部に水が掛かったりほこりなどがたまるないように注意してください。また、必ずアース端子を接続してください。さらに漏電ブレーカーの取り付けをおすすめします。
 - 感電の原因となることがありますので、水槽内に手を入れるときは電源を抜いてください。
 - ポンプは防塵、防水構造ではありません。水気の多い場所や湿度の高い場所で使用すると、感電したり、ショートする恐れがあります。濡れた手で触らないでください。
 - 本機は50Hz / 60Hz共用ですが、正しい電源電圧（AC100V）で使用してください。誤ったご使用は、火災や感電、故障の原因となります。
 - 電源コードに傷を付けたり乱暴に取り扱わないでください。火災、漏電、感電の原因となります。
 - 電源コードに中間スイッチを取り付けたり、ポンプ本体の改造を行うことは絶対におやめください。故障や重大な事故の原因となります。
 - 本機は屋内用です。屋内でのみご使用ください。
 - 金属の鋭利な部分でケガをしたり、リリイパイプが割れる恐れがあります。子どもが触らないように注意してご使用ください。
 - ポンプの表面は高温になります。ヤケドに注意し、子どもが触らない場所でご使用ください。
 - 電源プラグや手が濡れた状態でコンセントに抜き差ししないでください。火災や感電、故障の原因となります。

3.スーパージェットフィルターの特長

- ネイチャーアクアリウムに最適な外部式フィルターです。魚の飼育や水草の育成などに広くご利用いただけます（※淡水専用）。それぞれ、以下の水槽サイズに対応します。
 - ・ES-600 W60×D30×H36cm水槽～W60×D45×H36cm水槽
 - ・ES-900 W90×D45×H45cm水槽
 - ・ES-1200 W120×D50×H50cm水槽
 - ・ES-2400 W150×D60×H60cm水槽～W180×D60×H60cm水槽（※これ以上の水槽サイズでは複数設置）
- ろ材の目詰まりによる流量低下が起こりにくい特別仕様マグネットポンプ（株式会社イワキ製）を採用。ポンプとキャニスターを分離することで、ポンプの発熱や電磁波による週微生物への影響を軽減しました。
- ステンレス製（SUS304鋼）のキャニスターは円筒形で内部に余計な構造がないため、容積が最大限に利用できます。高い堅牢性とデザイン性を両立したシンプルなフォルムです。

4.部品名称

セットする前に、すべてのパーツが入っているか必ず確認してください。



スーパージェットフィルター各機種には以下のろ材が付属しております。（ネット入り）

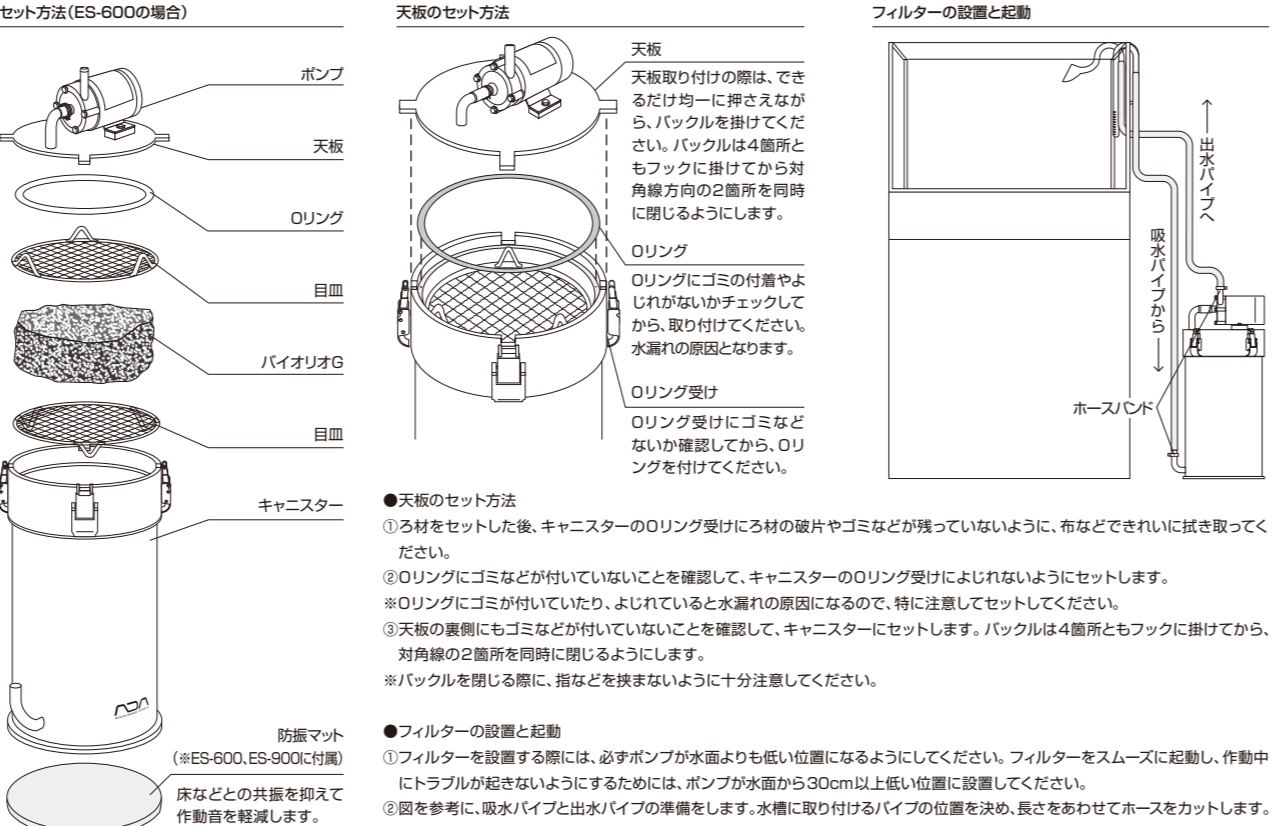
ろ材	内容量
ES-600 バイオリオG	3.5L
ES-900 バイオリオG	5L
ES-1200 バイオリオG	6.5L
ES-2400 バイオリオG	13L

ホースバンド	ES-600	ES-900	ES-1200	ES-2400
φ17 × 2	φ17 × 2	φ17 × 2	φ17 × 2	φ20 × 2

リリイパイプ	ニュー・リリイパイプ	クリアホース
ES-600(水深36cm) P-2(φ13)	V-3(φ13)	ES-900 φ13 2m
ES-600(水深45cm) P-4(φ13)	V-5(φ13)	ES-900 φ17 2m
ES-900 P-4(φ13)	V-7(φ17)	ES-1200 φ13 2m
ES-1200 P-6(φ13)	V-7(φ17)	ES-1200 φ17 2m
ES-2400 P-6(φ17)	V-7(φ20)	ES-2400 φ17 2m
		ES-2400 φ20 2m

5.使用方法

- ろ材のセット方法
 - ①バックルを外して天板を開け、上部の目皿とネット入りバイオリオGをキャニスターから取り出します。※バックルを外す際は、爪などを傷つけないように十分注意してください。
 - ②ネット入りバイオリオGをビニール袋から出し、ネットに入れたままで水がぬるま湯で、細かい粉をよく洗い流してください。
 - ③下部の目皿、ネット入りバイオリオG、上部の目皿の順にキャニスターに入れます。※ネット入りバイオリオGをキャニスターに入れる際には、キャニスターのエッジでネットを破らないように注意してください。



- 天板のセット方法
 - ①ろ材をセットした後、キャニスターのOリング受けにろ材の破片やゴミなどが残っていないように、布などできれいに拭き取ってください。
 - ②Oリングにゴミなどが付いていないことを確認して、キャニスターのOリング受けによれないようにセットします。※Oリングにゴミが付いていたり、よじれていると水漏れの原因になるので、特に注意してセットしてください。
 - ③天板の裏側にもゴミなどが付いていないことを確認して、キャニスターにセットします。バックルは4箇所ともフックに掛けてから、対角線の2箇所を同時に閉じるようにします。※バックルを閉じる際に、指などを挟まないように十分注意してください。

- フィルターの設置と起動
 - ①フィルターを設置する際には、必ずポンプが水面よりも低い位置になるようにしてください。フィルターをスムーズに起動し、作動中にトラブルが起きないようにするためには、ポンプが水面から30cm以上低い位置に設置してください。
 - ②図を参考に、吸水パイプと出水パイプの準備をします。水槽に取り付けるパイプの位置を決め、長さをあわせてホースをカットします。※ホースは接続した時に折れない程度に、余裕を持った長さでカットしてください。短すぎるとメンテナンスなどの際に扱いにくいことがあります。また、長すぎるとホースが折れて水流が止まる恐れがあります。
 - ③図を参考に、吸水パイプと出水パイプをホースで接続します。ホースが不意に抜けないように、フィルター側の接続部は、必ずホースバンドで固定してください。

- ※ホースバンドはドライバーを使って固定してください。 ※ホースバンドは締めすぎるとパーツの破損につながる恐れがあるのでご注意ください。
- ④ポンプを起動させる前に、水槽に十分な量の水が入っていることを確認した上で、呼び水をしてフィルターの中に水を通します。呼び水は、一度出水パイプを外して出水側のホースを口で軽く吸うと簡単に行えます。ポンプの中で水が通ったら、再びホースと出水パイプを接続してください。
- ※ポンプの空回しは絶対にしてしないでください。故障の原因となります。
- ⑤ポンプの電源を入れる前に、天板の周りやホースの接続部などから水が漏れていないことを確認してください。水が漏れた場合は、一度フィルターから水を抜き、Oリングやホースが正しくセットされているか（よじれたりゴミが付着していないか）を確認してください。キャニスター上部の接合部から水漏れする場合も、Oリングが正しくセットされていないことが考えられます。
- ⑥電源プラグをコンセントに差し込んでポンプを起動します。水漏れや異常音が発生した場合には、すぐに電源プラグを抜き、接続方法などを確認してください。なお、ポンプの起動直後、フィルターの中に空気が残っていると、ポンプから「チャ」という音が出て出水に細かい泡が混じることがありますが、正常であれば数分間で消えます。
- ※新しいろ材を最初使用する場合には、空気が完全に抜けるまで時間が掛かることがあります。また、使用中にフィルター内に空気がたまり、断続的に水流に細かい泡が混じることがありますが、これは異常ではありません。
- ⑦起動してから30～60分後に、フィルターやホースから水漏れがないことと、ポンプが正常に作動していることを必ず確認してください。

- ゴムホース用クリックバンドの取り扱いについて

キャニスターとポンプを接続するゴムホースには、特殊なクリックバンドが取り付けられています。ポンプのメンテナンスの際などには、右の図にしたがって脱着を行ってください。

 - クリックバンドは、マイナスドライバーで取り外すことができます（図1）。
 - クリックバンドを取り付ける場合には、マルチグリッププライヤーなどで、クリック感があるところまで締めてください（図2）。

※クリックバンドの角などでケガをしないよう、取り扱いに注意してください。また、着脱の際に、工具などでケガをしないよう注意してください。

※子どもが誤って飲み込んだりしないよう、子どもの手の届かない場所で保管してください。

6.リリイパイプ（出水用）、ニュー・リリイパイプV（吸水用）について

- この製品には、出水パイプとしてリリイパイプ（出水用）、吸水パイプとしてニュー・リリイパイプV（吸水用）が付属しています。
- [安全上の注意] ※必ずよくお読みください。
- 破損するおそれがありますので、乱暴に取り扱ったり、落としたり、不用意に力を掛けないようにしてください。特にホースやキスゴムの着脱の際、水槽へ取り付ける際や取り外す際、洗浄する際などの取り扱いにはご注意ください。また、洗浄の際にお湯をかけるなど、温度を急変させるようなことは絶対におやめください。
- 万一、本製品が破損した場合には、割れた箇所を手で触ったり、破片などを足で踏まないようご注意ください。ケガの原因となるおそれがあります。
- 破損した本製品は販売特約店頭にて修理を承っております。修理をご希望の場合は、けがないよう注意して、ご購入いただいた販売特約店にお持ち込みください。
- 生体の死亡につきまして、弊社は一切の責任を負いません。
- 子どもの手の届かない場所で保管、使用してください。
- [使用上の注意]
 - リリイパイプに接続するホースは、新しいものを使用してください。古いホースは弾力がなく外れやすいので使用しないでください。



- 天板のセット方法
 - ①ろ材をセットした後、キャニスターのOリング受けにろ材の破片やゴミなどが残っていないように、布などできれいに拭き取ってください。
 - ②Oリングにゴミなどが付いていないことを確認して、キャニスターのOリング受けによれないようにセットします。※Oリングにゴミが付いていたり、よじれていると水漏れの原因になるので、特に注意してセットしてください。
 - ③天板の裏側にもゴミなどが付いていないことを確認して、キャニスターにセットします。バックルは4箇所ともフックに掛けてから、対角線の2箇所を同時に閉じるようにします。※バックルを閉じる際に、指などを挟まないように十分注意してください。

- フィルターの設置と起動
 - ①フィルターを設置する際には、必ずポンプが水面よりも低い位置になるようにしてください。フィルターをスムーズに起動し、作動中にトラブルが起きないようにするためには、ポンプが水面から30cm以上低い位置に設置してください。
 - ②図を参考に、吸水パイプと出水パイプの準備をします。水槽に取り付けるパイプの位置を決め、長さをあわせてホースをカットします。※ホースは接続した時に折れない程度に、余裕を持った長さでカットしてください。短すぎるとメンテナンスなどの際に扱いにくいことがあります。また、長すぎるとホースが折れて水流が止まる恐れがあります。
 - ③図を参考に、吸水パイプと出水パイプをホースで接続します。ホースが不意に抜けないように、フィルター側の接続部は、必ずホースバンドで固定してください。

- ※ホースバンドはドライバーを使って固定してください。 ※ホースバンドは締めすぎるとパーツの破損につながる恐れがあるのでご注意ください。
- ④ポンプを起動させる前に、水槽に十分な量の水が入っていることを確認した上で、呼び水をしてフィルターの中に水を通します。呼び水は、一度出水パイプを外して出水側のホースを口で軽く吸うと簡単に行えます。ポンプの中で水が通ったら、再びホースと出水パイプを接続してください。
- ※ポンプの空回しは絶対にしてしないでください。故障の原因となります。
- ⑤ポンプの電源を入れる前に、天板の周りやホースの接続部などから水が漏れていないことを確認してください。水が漏れた場合は、一度フィルターから水を抜き、Oリングやホースが正しくセットされているか（よじれたりゴミが付着していないか）を確認してください。キャニスター上部の接合部から水漏れする場合も、Oリングが正しくセットされていないことが考えられます。
- ⑥電源プラグをコンセントに差し込んでポンプを起動します。水漏れや異常音が発生した場合には、すぐに電源プラグを抜き、接続方法などを確認してください。なお、ポンプの起動直後、フィルターの中に空気が残っていると、ポンプから「チャ」という音が出て出水に細かい泡が混じることがありますが、正常であれば数分間で消えます。
- ※新しいろ材を最初使用する場合には、空気が完全に抜けるまで時間が掛かることがあります。また、使用中にフィルター内に空気がたまり、断続的に水流に細かい泡が混じることがありますが、これは異常ではありません。
- ⑦起動してから30～60分後に、フィルターやホースから水漏れがないことと、ポンプが正常に作動していることを必ず確認してください。

- ゴムホース用クリックバンドの取り扱いについて

キャニスターとポンプを接続するゴムホースには、特殊なクリックバンドが取り付けられています。ポンプのメンテナンスの際などには、右の図にしたがって脱着を行ってください。

 - クリックバンドは、マイナスドライバーで取り外すことができます（図1）。
 - クリックバンドを取り付ける場合には、マルチグリッププライヤーなどで、クリック感があるところまで締めてください（図2）。

※クリックバンドの角などでケガをしないよう、取り扱いに注意してください。また、着脱の際に、工具などでケガをしないよう注意してください。

※子どもが誤って飲み込んだりしないよう、子どもの手の届かない場所で保管してください。

6.リリイパイプ（出水用）、ニュー・リリイパイプV（吸水用）について

- この製品には、出水パイプとしてリリイパイプ（出水用）、吸水パイプとしてニュー・リリイパイプV（吸水用）が付属しています。
- [安全上の注意] ※必ずよくお読みください。
- 破損するおそれがありますので、乱暴に取り扱ったり、落としたり、不用意に力を掛けないようにしてください。特にホースやキスゴムの着脱の際、水槽へ取り付ける際や取り外す際、洗浄する際などの取り扱いにはご注意ください。また、洗浄の際にお湯をかけるなど、温度を急変させるようなことは絶対におやめください。
- 万一、本製品が破損した場合には、割れた箇所を手で触ったり、破片などを足で踏まないようご注意ください。ケガの原因となるおそれがあります。
- 破損した本製品は販売特約店頭にて修理を承っております。修理をご希望の場合は、けがないよう注意して、ご購入いただいた販売特約店にお持ち込みください。
- 生体の死亡につきまして、弊社は一切の責任を負いません。
- 子どもの手の届かない場所で保管、使用してください。
- [使用上の注意]
 - リリイパイプに接続するホースは、新しいものを使用してください。古いホースは弾力がなく外れやすいので使用しないでください。

スーパージェットフィルター 使用説明書

ADA NATURE AQUARIUM SUPER JET FILTER



お問い合わせ先: ADAサービスセンター
0256-72-1994 (平日10:30～17:30)
E-mail/support@adana.co.jp
発売元: 株式会社 アクリアデザインアマン
新潟県新潟市西蒲区漆山8554-1 〒953-0054
aqua design amano CO.LTD.
8554-1 Urushiyama, Nishikan-ku, Niigata 953-0054, Japan
MADE IN JAPAN
405101S14,JE22E12



